

## 【様式1】

団体名 <b>豊見城市立伊良波中学校</b>	連絡先 TEL : 098-850-2791 メール : <a href="mailto:jh-iraha@city.tomigusuku.okinawa.jp">jh-iraha@city.tomigusuku.okinawa.jp</a>
---------------------------	--

### 1 実践事項

5か年プラン・プロジェクトⅡの5つの方策（方策1日常化する、2そろえる、3支える）の取組

### 2 実践内容

#### (1) 職員の授業改善の取組

校内研修の研究テーマを「確かな学力を身に付け、主体的に学び合い高め合う生徒の育成～生徒指導の3機能を踏まえた授業改善とICT機器の活用を通して～」として、学力向上推進と校内研修の一体化をはかり授業法工夫改善に焦点化して取り組んでいる。市学力調査や全国学力・学習状況調査、学びのたしかめ等の実施後、各教科、結果の分析を行いその分析を踏まえて、授業改善に努めている。

#### (2) 家庭学習の充実（授業と連動した「宿題」）

教科の特性を生かした授業と連動した家庭学習（宿題）の充実に取り組んでいる。曜日ごとに教科を決めプリント等を準備し、朝の会までに提出する。点検は、学習委員で行う。

#### (3) 生活リズム確認週間の取り組み

学力向上強化月間の期間に合わせて、年3回（5月、9月、1月）取り組む。プリント（1週間の生活リズムを確認しよう）を用意し、1日の生活の流れを1週間分記入する。1週間のふり返りも記入する。担任は、教育相談や三者面談等で活用する。

#### (4) 伊良波フェスタの取り組み

今年度は、新型コロナの影響で取り組みが遅くなり短期間での出演者の募集や、限られた時間での旧生徒会役員を中心とする企画・運営で実施した。発表内容は、吹奏楽の演奏、合唱、歌、ダンス等、生徒の個性豊かで才能あふれる一面を見ることができた。

#### (5) 1学年いじめ防止授業の取り組み

沖縄弁護士会から3人の弁護士を招き、1年生の各クラスで「いじめ防止授業～弁護士が伝える人権のお話～」を実施した。授業を通して、学校生活や自身の言動を振り返り、いじめ防止などについて考えることができた。

### 3 説明資料（写真、グラフ、図、表など）



数学の授業風景



いじめ防止授業



生活リズム表

### 4 成果と課題

- 定期的に教科会を位置づけ、お互いに授業の進捗状況や研究授業等の指導法の検討を行うことで教科会の取組の充実を図ることができた。
- 学習を支える力、学習規律として、授業における基本事項（授業の心得）を全学級で4月に共通確認を行い、授業を実施することができた。
- 生徒会主催の行事として、生徒会執行部が自ら考えて行動することを意識して取り組めた。
- 一人一研究授業の参観者が少ない。各教科同士で授業参観できる雰囲気づくりが必要である。
- 各種調査30%未満の生徒に対し実態を踏まえた授業づくり、効果的な手立てや対応が必要である。
- 自己存在感や自己肯定感を高める授業づくり、学習形態、授業展開の工夫・改善が必要である。